

図書室より 新着図書のお知らせ

一般書



『<あの絵>のまえで』 原田マハ

「絶対、あきらめないで。待ってるからね。ずっと、ずっと」。美術館で受け取ったのは亡き祖母からのメッセージ。作家志望でライターの亜衣は、忙しさを言い訳に遠ざけていた祖母を突然喪ってしまう。後悔と孤独に苛まれる亜衣を救ったのは、お節介な年上の隣人だった(「豊饒」)。傷ついても再び立ち上がる勇気を得る極上の美術小説集。

『魔女と過ごした七日間』 東野圭吾

その夏、信じられないことばかり起きた。「ラプラスの魔女」シリーズ！

AIによる監視システムが強化された日本。指名手配犯捜しのスペシャリストだった元刑事が殺された。

「あたしなりに推理する。その気があるなら、ついてきて」不思議な女性・円華に導かれ、父を亡くした少年の冒険が始まる。少年の冒険×警察ミステリ×空想科学。記念すべき著作100作目、匠の傑作誕生！

『罪の境界』 薬丸 岳

無差別通り魔事件の加害者と被害者。決して交わるはずのなかった人生が交錯した時、慟哭の真実が明らかになる感動長編ミステリー。

「約束は守った……伝えてほしい……」それが、無差別通り魔事件の被害者となった飯山晃弘の最期の言葉だった。自らも重症を負った明香里だったが、身代わりとなって死んでしまった飯山の言葉を伝えるために、彼の人生を辿り始める。この言葉は誰に向けたものだったのか、約束とは何なのか。

『名探偵のままでいて』 小西マサテル

2023年 第21回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作

「認知症の老人」が「名探偵」たりうるのか？ 孫娘の持ち込む様々な「謎」に挑む老人。日々の出来事の果てにある真相とは——？ 認知症の祖父が安楽椅子探偵となり、不可能犯罪に対する名推理を披露する連作ミステリー！

児童書



『銭天堂：ふしぎ駄菓子屋 11』 廣嶋玲子

地下の冷凍室からぬけだしたよどみは、銭天堂への復讐から新たな作戦を考える。それは、銭天堂の駄菓子を買ったお客に、駄菓子を買ったことを後悔させることで、招き猫を不幸虫に変えることだった！紅子とよどみの対決はいよいよクライマックスへ！ 紅子は、よどみの悪だくみにどう立ち向かうのか？ シリーズ第11作。

『ロスト・ワールド 恐竜の世界』 コナン・ドイル

恐竜が今も生きています!? チャレンジャー教授ひきいる探検隊が、大変な冒険の末に南米の山奥で目にしたのは信じられないような光景でした。さくさく読める世界名作シリーズ第27弾。